

余丁校通信



8・9月の生活目標

き 決まりを守って安全に過ごそう。

10年目を迎えたわかまつ学級

校長 古谷 勉

長い夏休みが終わり、2学期が始まりました。今学期も教育活動の充実に向け、教職員一同力を尽くしてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、本校には特別支援学級である病弱学級「わかまつ学級」があります。東京女子医科大学病院の病棟の中に1部屋教室があり、入院している児童が通ってきます。現在はコロナの影響で教室を開室できず、余丁町小学校と病室との間でオンライン授業を展開していますが、コロナの状況が改善すれば、教室での指導が再開されることになっています。

このわかまつ学級が今年度で10年目を迎えました。もともと女子医大の入院児童には、新宿養護学校の教員が訪問指導を実施していましたが、女子医大の医師の強い思いをきっかけに、区や都が動き学級が新設されました。このような経緯で特別支援学級が開設されるのは極めて稀であると聞いています。

直接病室や空きスペースなどで個別に実施される訪問学級と、本校の病弱学級との違いは大きく以下の2点であると考えています。

- ・教室に複数の児童が集い学習する。
- ・学校と同じリズムで教育活動が行われる。

病弱学級では入院児童は病室を離れ、鞆を背負ってわかまつ学級に、つまり「学校」に通い、友達と一緒に学ぶことになるのです。実際、教室が開室していたときは、異学年が混ざった複式学級ではありますが、児童は仲良く教室で勉強をしたり、遊んだりしていて、まさに学校の教室にいるようでした。

最近ではオンラインも可能になったことで、病院にいながら余丁町小の授業や行事にも参加できるようになっています。実際に病弱学級に携わってみると、病弱学級の意義を強く感じます。今後も入院している児童にとって、わかまつ学級が貴重な教育の場となるよう、担任共々努力していきたいと考えています。

運動会について

運動会担当 小林 渚

日時：令和5年9月23日（土）8：45～12：15

- ・子どもたちは昼食後、5校時に運動会の振り返りを行います。（14：10下校）
- ・お弁当を持たせてください。

今年度は、校庭の工事により、参観スペース・競技スペースともに縮小せざるを得ない状況のため、低学年・中学年・高学年を時間帯で分け、該当学年のみが校庭で競技・演技を行います。それ以外の学年は、教室でオンラインによる参観をします。また、保護者の皆様には、「各家庭2名まで」「お子様の学年の時間帯のみの鑑賞」へのご理解ご協力をお願いいたします。保護者観覧席は、入れ替え制となり、お子様の出場時間に合わせて観覧していただきます。詳しい時程や内容に関しましては、後日お知らせいたします。

学校公開のお知らせ

学校公開担当 田邊 未生

子どもたちの学校生活の様子を保護者や地域の皆様にご覧いただきます。本校の教育内容についてご覧いただき、ご理解をいただく機会となれば幸いです。

〔日程〕8月31日（木）～9月2日（土）〔3日間〕

〔時間〕3日間とも午前中のみ公開（受付：8：25～）

※昨年度のような人数や時間の制限はありません。

※午後の授業時数により各学年の下校時刻が変わります。

※授業内容につきましては『学校公開のお知らせ』をご参照下さい。

算数少人数について

算数少人数担当 林 知子

6月、6年生の移動教室の引率をしたとき、子どもたちは集合場所に遅れないように時間の計算をしていました。また、買い物をするときには暗算する場面が見られました。算数は、日常生活には欠かせない教科だとつくづく感じました。

本校では、3年生から6年生までの算数の授業は、少人数指導を行っています。2クラスを3グループに分割することによって、より個に応じた指導ができ、自分のペースで学習することができます。集中して課題に取り組み、「分かった」「もっと考えたい」と感じる子どもも増えています。

これからも、算数が「好き」「おもしろい」と感じられる楽しい授業を行ってきます。